

共同育種で開発されたイチゴ種子繁殖型品種「よつぼし」

- ◎種子繁殖型のイチゴ品種を、三重県、香川県、千葉県と独立行政法人農業・食品産業総合研究機構九州沖縄農業研究センターの共同育種によって開発し、品種登録出願を行いました。
- ◎種子繁殖型品種は、増殖効率が非常に高く、病害虫に感染していない苗を容易に得られるため、イチゴ生産に変革をもたらすニュータイプのイチゴ品種として期待されます。
- ◎「よつぼし」の果実は、円錐形の光沢がある赤色で(図 2)、安定して糖度が高く、全果汁糖度で 10.4～11.3、酸味も感じられ、濃厚で美味しい食味が特徴です。

◎早生性を有し促成栽培作型に適します。5月に播種すると、9月には従来品種と同等の苗に育ち、従来品種よりずっと省力的な育苗が可能です。(図 3)。

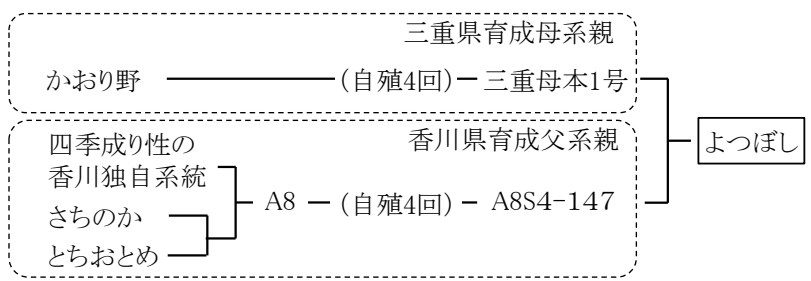


図 1 「よつぼし」の系統図



図 2 「よつぼし」の草姿(左)、果実(中央)着果状況(右)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
従来品種	株保管		親株	増殖・育苗				定植	収穫	
	収穫											
種子型品種					播種	育苗		定植	収穫	
	収穫											

図 3 従来品種と種子繁殖型品種の作型比較

お問い合わせ先	野菜園芸研究課	森 利樹	電話 0598-42-6358
参考になる資料	三重農研HP: http://www.mate.pref.mie.lg.jp/marc/KenSeika/index.htm		